

## 日本生協連第64回通常総会・全体討論「発言概要」

会 員 名	生活協同組合コープあおもり		
代議員番号	26	代議員名	坂本 洋子（さかもと ようこ）
<p><b>●発言議案（第1号議案）</b></p> <p>全国的に少子高齢化が進んでいますが、13年度の青森県の高齢化率は27.6%で過去最高となりました。もちろん全国平均よりもかなり高い数値です。このような情勢と生協が地域に果たす役割を考えた際「住みなれた地域に健康で安心して暮らしたい」という組合員の願いを受けとめるには、地域購買生協と医療福祉生協が協同し、食を通じた社会貢献に取り組む必要があると考えました。10年7月にコープあおもりと青森保健生協は給食・配食事業に取り組むことに合意し、両生協による給食・配食事業調査検討委員会を発足しました。12年1月に調査検討委員会より両生協に事業計画案を答申し、さまざまな困難を乗り越えて、13年1月に給食・配食事業計画が両生協理事会で承認されました。</p> <p>13年2月にコープあおもりと青森保健生協が共同出資した子法人「(株)あおもりコープフーズ」を設立し、14年2月に1日6,000食が製造可能なオール電化の大規模調理施設「あおもりセントラルキッチン」が完成しました。今年3月から稼働し、現在1日当り、病院食を約1,100食、在宅配食を約200食提供しています。配食サービスは4月7日に青森市から開始し、順次県内へ配達エリアを拡大していく予定です。6月からは県内医療福祉生協の介護福祉施設へ給食の提供も行います。将来的には1日当り配食が3,000食、給食は2,700食の提供と個別対応の在宅配食の実現をめざしています。</p> <p>《給食・配食事業を通じて8つのめざすこと》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①安全・安心、便利でおいしい食事をより多くの県民に提供し、いのちと暮らしの安心をつくるとともに、青森県の福祉向上に貢献します。</li> <li>②地元の生産者や加工業者と連携し、地元の食材を使用して地産地消をすすめます。</li> <li>③買い物や家事等で困っている県民に対し、食事を提供することで、地域で支えあう食事づくりに貢献します。</li> <li>④自前のセントラルキッチンを持つことで、味付けやカロリーの自由度が広がり、様々な食事の嗜好にあわせて、適正価格で最適な食事を提供します。</li> <li>⑤新しい事業を展開することにより雇用を拡大し、障がい者を含めた県内の雇用率向上を図ります。</li> <li>⑥高齢社会への対応として、配食とともに見守り活動を行うことにより、住みなれた地域に健康で安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。</li> <li>⑦医療機関と連携し、退院後も食事療法を継続できる食事を提供することにより、在宅でも安心して療養できる援助をします。</li> <li>⑧コープあおもりと青森保健生協の経営に貢献します。</li> </ol> <p>この事業の理念は「生協がつなぐ県内のきずなからうまれた食事で、安心と笑顔と元気を広げます」としました。今年2月に医療福祉生協を含む県内7つの生協は青森県と「高齢者等見守りの取組推進に関する協定」を締結しました。この協定は、県社会福祉協議会、県市長会、県町村会、県生協連等が協力団体として参加するという、全国でも例を見ない取り組みとなりました。コープあおもりは、これらの給食・配食事業や見守り活動などを通して、今後も高齢者や障がい者の方々が住みなれた地域に健康で安心して暮らせるよう、県内の医療福祉生協と連携した取り組みを一層推進していきます。</p>			